

# ミッション企画書

作成日： 年 月 日

校名：美しが丘校

企画者：浦

## 活動名：試練を超える！バランス玉入れゲーム

### 本活動の着目点

平衡感覚や多重課題に対応することが出来る

### 本人支援 5 領域とのつながり

健康・生活

認知・行動

運動・感覚

言語・コミュニケーション 人間関係・社会性

#### 生活上の困り感

(実施者に確認して頂きたい内容)

- 何かをしながら別のことをすることが苦手
- 頻繁に転倒する
  - ・字が汚い
  - ・すぐ怒る イライラする

#### 目的・趣旨

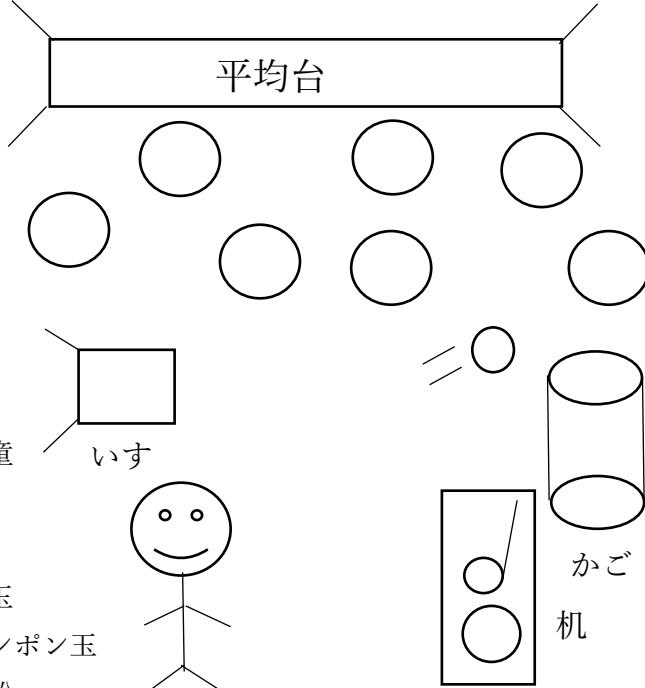
(OT 的視点)

- 配分性注意機能向上
- バランス機能向上
  - ・目と手の協調動作向上
  - ・情動の発達促進

### 活動の概要

#### 【場所】

活動場所



#### 【日時・所要時間】

月 日( )

16:00 開始

約 30 分～40 分程度

#### 【人数】

ミッション参加者

#### 【対象者】

- ・平衡感覚や感覚統合が苦手な児童
- ・複数の一斉課題が難しい児童

#### 【必要な道具】

- |        |      |        |
|--------|------|--------|
| ・平均台   | ・ボール | ・お玉    |
| ・手作りの輪 | ・かご  | ・ピンポン玉 |
| ・いす    | ・机   | ・風船    |

### 活動の進め方

#### 【進行方法・ルール】

ミッションの 10 分前から声掛けを行う。

16:00 になったら活動を始め、ルール説明を行い活動を行う。

- ① 風船を持った状態で平行棒に乗って落ちないように渡る  
→平衡感覚・感覚統合力を養う

# ミッション企画書

- ② 風船を持った状態で床に置いてある輪を渡る

→二重課題

- ③ 椅子に座り持っている風船を先にあるかごに投げ入れる（入るまで）

→うまくいかない時の感情のコントロール

- ④ 最後にお玉に小さなポールを乗せて②→①を行い戻ってくる

→目と手の協応、多重課題

ルールに関しては下記内容にて行う。

- ・勝負ではなく順番に並んで1人ずつ協力して行う。

- ・友達が失敗したときに責めたりしない（応援する）

- ・順番を待っている人は危ないため中に入らない。

15：50～活動の呼びかけ

16：00～活動開始

16：40～活動終了

## 【進行上の留意点】

- ・一度デモンストレーションをしてルールの再確認を行う。

- ・勝負ではなく協力する活動であることを説明する。

- ・待っている人は中に入らず応援をする。

- ・バランスが苦手な子にはしっかり見守りを行う。

## 【役割：OT、スタッフ】

進行：OT

見守り：スタッフ1名

### スタッフの着目点

- ・身体の使い方は意識できているか

- ・多重課題に対応できているか

- ・ゴールの見通しは立てられているか

- ・皆で協力を出来ているか

### 活動を行う上での注意点

- ・平均台を使うためバランスを崩した際の転倒に注意する

- ・環境設定をしっかりしルールを細かく設定しておく

### 予算

- |        |        |     |
|--------|--------|-----|
| ・平均台   | ・かご    | ・風船 |
| ・手作りの輪 | ・机     |     |
| ・椅子    | ・お玉    |     |
| ・ポール   | ・ピンポン玉 |     |

計0円

# ミッション企画書